

入札状況の常時監視報告書 (令和6年度)

(概要版)

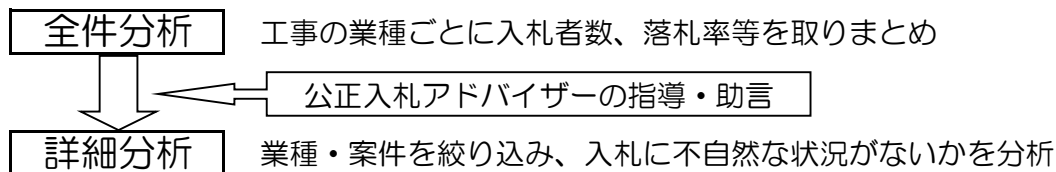
名古屋市

1 入札状況の常時監視の概要 (2～5ページ)

(1) 目的

- ・ 談合等不正行為の早期発見と抑止
- ・ 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 内容



(3) 結果

昨年度と比較し、平均入札者数は0.2者減、平均落札率は0.2ポイント増と大きな増減は見られなかった。

また、入札時に事業者が提出した積算内訳書の詳細分析を行い、18件のうち1件について不自然な記載が確認されたため公正入札調査委員会へ報告を行った。その他の案件については不自然な記載は確認されなかった。

さらに、総合評価落札方式における入札時に事業者が提出した自己評価加算点申告表に記載されている配置可能技術者について詳細分析を行い、18件のうち3件に配置出来ない可能性がある技術者の記載があった。配置出来ない技術者を記入する理由として、確認不足や限られた技術者を同時期の落札案件で既に従事させていること等が考えられるが、当該事業者が落札候補者とならなかったことから問題はないと判断した。

2 令和6年度における入札状況の概要 (6～13ページ)

(1) 発注件数・落札金額

発注件数2,422件（27業種）のうち1,888件（78%）が一般競争入札であった。

(2) 平均入札者数・平均落札率

区 分	平均入札者数	前年比	平均落札率	前年比
一般競争入札	8.4者	△0.4	91.9%	+0.2
指名競争入札	4.1者	△0.2	92.6%	+0.1
入札合計	7.5者	△0.2	92.1%	+0.2

①平均入札者数

- ・ 令和5年度と同様、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多い傾向がみられた。

②平均落札率

- 入札全体では、令和5年度と比べて0.2ポイント高くなった。
- 令和5年度と同様、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて低くなった。
- 発注金額階層別では、500万円未満や5億円以上の工事においてやや高い傾向が見られ、高額かつ大規模な工事は施工可能な事業者が限られることや、少額の工事は事業者が敬遠することにより入札者が少なくなるため、競争性が下がり落札率が高くなっていると考えられる。
- 令和5年度と同様、概ね入札者数が多いほど落札率が低い傾向が見られた。

